

安城市 市民協働に関する町内会アンケート 調査報告書

平成28年 11 月

安城市 市民協働課

目 次

| | |
|---|----|
| 序. 調査の概要..... | 1 |
| 1. 町内会の組織について..... | 2 |
| (1) 町内会長在職年数 | 2 |
| (2) 役員を選出方法 | 3 |
| (3) 町内会加入率の増減 | 4 |
| (4) 町内会に加入しない理由 | 5 |
| (5) 行っている町内会への加入促進策 | 6 |
| (6) 取り組んでいる活動内容と力を入れている活動 | 8 |
| (7) 情報発信の内容 | 11 |
| (8) 情報発信媒体 | 12 |
| (9) 町内会活動の課題) | 13 |
| 2. 協働を推進するために必要なこと..... | 15 |
| (1) 自身の町内会以外の団体との協働の実態と意向 | 15 |
| (2) 協働したい団体 | 16 |
| (3) 協働する場合の期待される効果 | 17 |
| (4) 協働したくない理由 | 18 |
| 3. 自由回答結果（その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見）..... | 19 |
| ■調査票 | 21 |

序 調査の概要

(1) 調査の目的

本市では、平成25年に策定した「安城市市民協働推進計画」が平成29年度で計画期間が終了するため、平成30年度から同35年度までを計画期間とする「第2次安城市市民協働推進計画」の策定に着手しています。

本調査は、本市の市民協働に関する現状を分析し、協働によるまちづくりを推進する施策を検討する際の基礎資料とすることを目的に実施するものです。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

- ・市内の79町内会すべて

②調査方法

- ・行政連絡員による直接配布、郵送による回収

③調査実施時期

- ・市民への配布は平成28年7月25日（月）付けで実施（22日（金）に行政連絡員に配布、以後順次配布）。
- ・回収は8月8日（月）を回答締切日として実施。なお、締切日以降に返送されてきた調査票についても可能な限り集計に加えています。

(3) 調査票の回収状況

- ・回収状況は以下のとおり。

表-1 回収状況

| A：配布数 | B：回収数 | C：有効回収数 | D：有効回収率（%） D=C/A |
|-------|-------|---------|---------------------|
| 79 | 66 | 66 | 83.54% |

(4) 調査票の回収状況

- ・グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフを用いて表現しています。基数となる実数（各設問の回答者数）はnとして掲載し、各グラフの構成比（%）はnを母数とした割合を示しています。
- ・図中の構成比（%）は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入しています。その関係で合計は必ずしも100.0%にはなりません。
- ・一部のグラフにおいては、「回答なし」は省略してあります。また、設問のカテゴリー（選択肢）などの表現は、一部省略してある場合があります。

1. 町内会の組織について

(1) 町内会長在職年数

問1 現在の町内会長の在職年数は何年ですか。(あてはまるもの1つに○印)

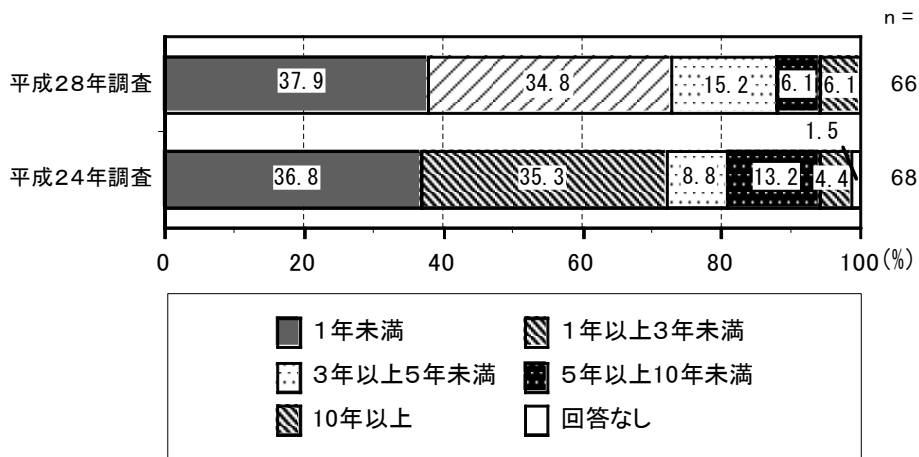
要点

現在の町内会の在職年数は、3年未満という町内会が多数(72.7%)を占めています。中には、「5年以上10年未満」や「10年以上」といったかなりの長期間町内会長を務めている町内会もみられます。

全体

- 現在の町内会長の在職年数については、「1年未満」が37.9%を占め最も多くなっています。次いで「1年以上3年未満(34.8%)」が多く、在職年数が3年未満という町内会は、合わせて72.7%と多数を占めています(図1-1)。
- 「5年以上10年未満」や「10年以上」といったかなりの長期間町内会長を務めている町内会も共に4町内会(6.1%)みられます(図1-1)。
- 平成24年調査の結果と比べると、平成24年調査結果では「5年以上10年未満」が13.2%であったものが、平成28年調査では6.1%に減っています。逆に「3年以上5年未満」については、8.8%であったものが15.2%に増えています。これら以外では大きな変化はみられません(図1-1)。

図1-1 「町内会長在職年数」(平成24年調査比較)



(2) 役員の選出方法

問2 町内会の役員の選出はどのように行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

要点

役員の選出方法については、「自薦他薦」で候補者が複数人出た場合は「投票」という町内会が主流ですが、「輪番制」という方法をとっている町内会も 15.2%みられます。

全体

- 役員の選出方法については、「順番に役職が回ってくる（輪番制）」が 15.2%、「その他」が 27.3%みられるものの、「立候補または他人からの推薦（自薦他薦）」が 60.6%と最も多くなっています（図 1-2-1）。
- なお、「その他（27.3%）」も少なくありませんが、その具体的な内容は、町内会長と評議員で決定や話し合い・協議で決める、候補者で話し合いなどとなっています（図 1-2-1）。
- 「立候補または他人からの推薦」を行って候補者が複数人になった場合は、「投票」を行うケースが 37.9%と多くなっています（図 1-2-2）。

図 1-2-1 「役員の選出方法」

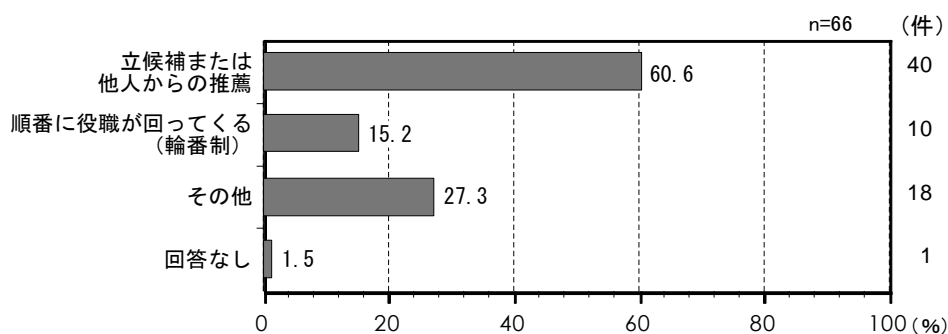
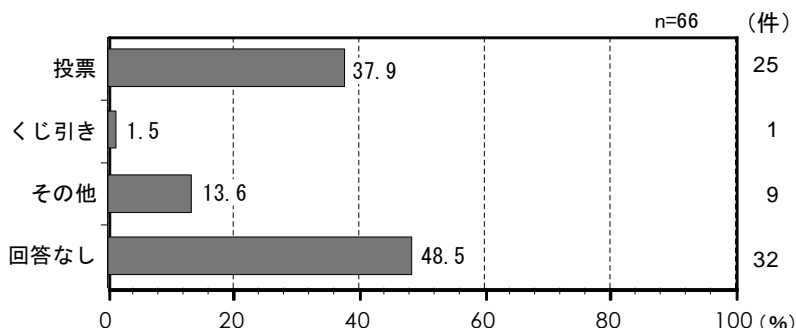


図 1-2-2 「候補者が複数いた場合の選出方法」



(3) 町内会加入率の増減

問3 町内会への加入率はどのような状況ですか。(あてはまるもの1つに○印)

要点

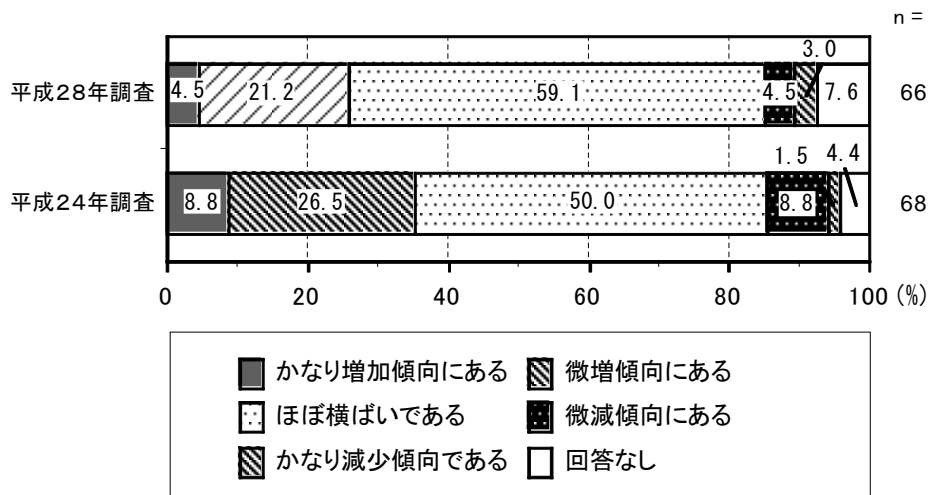
町内会の加入率について、「ほぼ横ばいである」が59.1%と過半数を占めています。『増加傾向にある』という町内会の方が『減少傾向にある』という町内会よりも18.2ポイントも多くなっています。

前回調査に比べて「ほぼ横ばいである」が9.1ポイント増加している一方で、『増加傾向にある』が、9.6ポイント(35.3%→25.7%)減少しています。

全体

- 町内会の加入率について、「ほぼ横ばいである」が59.1%と過半数を占めています(図1-3)。
- 町内会の加入率が「かなり増加傾向である」は4.5%と少ないですが、「微増傾向である」が21.2%を占め、『増加傾向にある』という町内会は合わせて25.7%となっています。これに対して、「かなり減少傾向である(3.0%)」と「微減傾向にある(4.5%)」とを合わせた『減少傾向にある』という町内会は合わせて7.5%であり、『増加傾向にある』という町内会の方が18.2ポイントも多くなっています(図1-3)。
- 平成24年調査の結果と比べると、「ほぼ横ばいである」が9.1ポイント増加しているのに対して、『増加傾向にある』は、9.6ポイント(35.3%→25.7%)減少しています。また、『減少傾向にある』についても2.8ポイント(10.3%→7.5%)減少しています(図1-3)。

図1-3 「加入率」(平成24年調査比較)



(4) 町内会に加入しない理由

問4 町内会に加入しない世帯では、どのようなことが未加入の理由として多いですか。
(あてはまるもの2つまで○印)

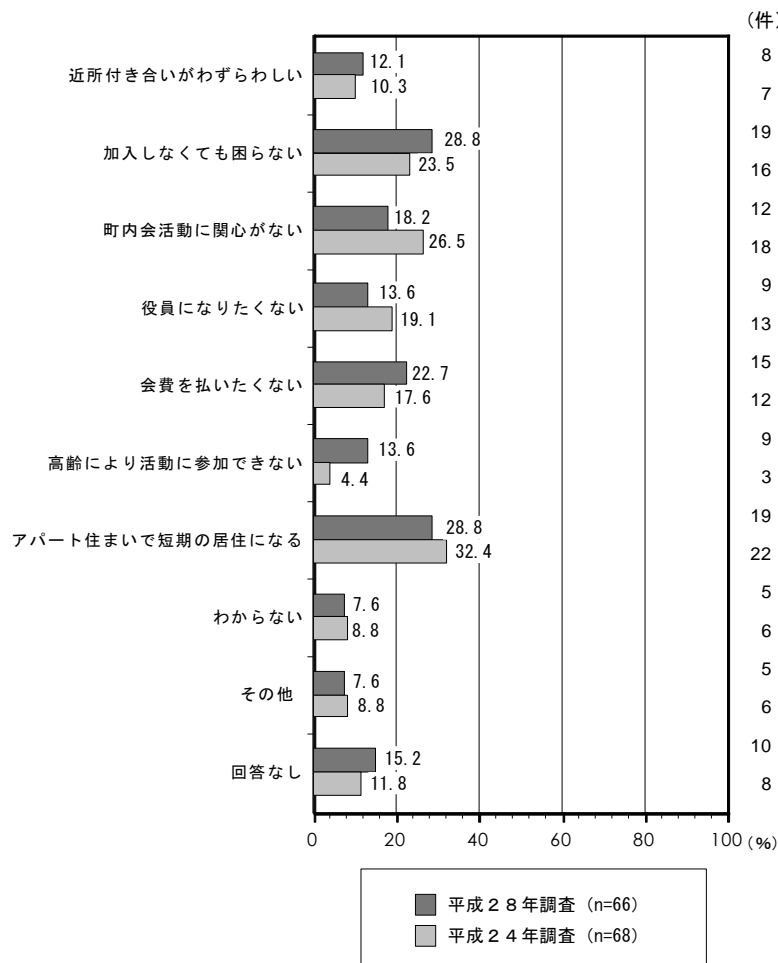
要点

「アパート住まいで短期の居住になる」や「加入しても困らない」、「会費を払いたくない」や「町内会活動に関心がない」が町内会へ加入しない主な理由になっています。

全体

- 町内会に加入しない理由については、「アパート住まいで短期の居住になる」と「加入しなくても困らない」が共に28.8%ともっとも多くなっています(図1-4)。
- 3番目に多い理由は「会費を払いたくない(22.7%)」、4番目に多い理由は「町内会活動に関心がない(18.2%)」となっています(図1-4)。
- 平成24年調査の結果と比べると、「高齢により活動ができない」が9.2ポイント(4.4%→13.6%)増加しているのが特徴となっています。また、「加入しなくても困らない」と「会費を払いたくない」についても、それぞれ5.3ポイント(23.5%→28.8%)、5.1ポイント(17.6%→22.7%)増加しています。地域社会の高齢化と町内会に対する期待の薄さが背景となっていることがうかがえる結果となっています(図1-4)。
- 一方、「町内会活動に関心がない」と「役員になりたくない」については、それぞれ8.3ポイント(26.5%→18.2%)、5.5ポイント(19.1%→13.6%)減少しています(図1-4)。

図1-4 「町内会に加入しない理由」(平成24年調査比較)



(5) 行っている町内会への加入促進策

問5 町内会への加入を促進するために、行っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○印)

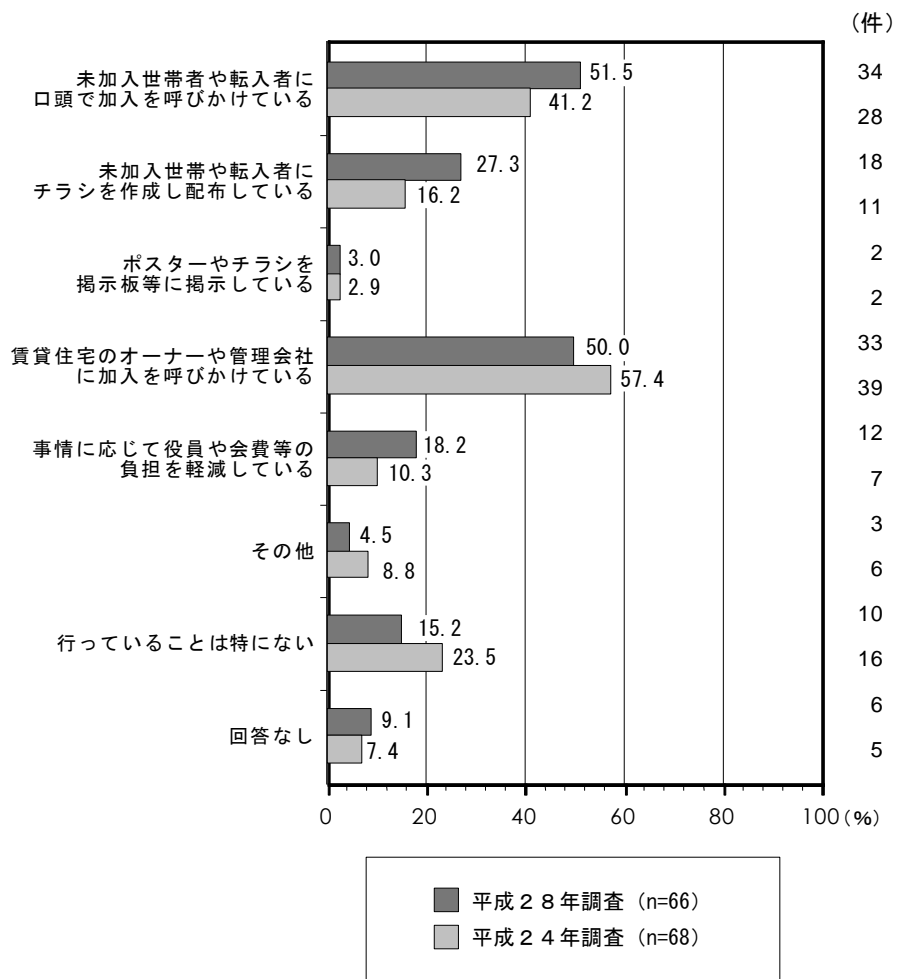
要点

75.7%の町内会で、町内会への加入を促進するための何らかの取組を実施しています。もっとも多くの町内会で取り組まれている加入促進策は、「未加入世帯や転入者に口頭で加入を呼びかけている(51.5%)」で、次いで、「賃貸住宅のオーナーや管理会社に加入を呼びかけている(50.0%)」や「未加入世帯や転入者にチラシを作成し配布している(27.3%)」が多くなっています。

全体

- 「行っていることは特になし」は15.2%で、これと「回答なし(9.1%)」を差し引いた残りの75.7%の町内会で、町内会への加入を促進するための何らかの取組を実施しています。平成24年調査に比べて、何らかの取組を実施している町内会は、6.6ポイント(69.1%→75.7%)増えています(図1-5)。
- もっとも多くの町内会で取り組まれている加入促進策は、「未加入世帯や転入者に口頭で加入を呼びかけている(51.5%)」で、平成24年調査の結果より10.3ポイント(41.2%→51.5%)増加しています。2番目に多いのは、「賃貸住宅のオーナーや管理会社に加入を呼びかけている(50.0%)」で、平成24年調査の結果より7.4ポイント(57.4%→50.0%)減少しています(図1-5)。
- 3番目に多いのは、「未加入世帯や転入者にチラシを作成し配布している(27.3%)」で、平成24年調査の結果より11.1ポイント(16.2%→27.3%)増加しています。4番目は、「事情に応じて役員や会費等の負担を軽減している(18.2%)」で、平成24年調査の結果より7.9ポイント(10.3%→18.2%)増加しています(図1-5)。
- 全般的にみて、平成24年調査の結果以上に多様な加入促進策に努力している様子がうかがえます(図1-5)。

図 1-5 「行っている町内会への加入促進策」（平成 2 4 年調査比較）



(6) 取り組んでいる活動内容と力を入れている活動

問6 町内会において、現在どのような活動に取り組んでいますか。

(あてはまるものすべてに○印)

問7 問6で回答した活動分野の中で、もっとも自慢できる、または力を入れている特徴的な活動は何ですか。主なもの3つについて、「活動分野の番号」と「具体的な活動の名称」、「その活動の概要」を下欄にご記入ください。

要点

「防火・防災」(100%)や「清掃・衛生」(97.0%)「高齢者介護の支援(見守り、サロン活動等)」(95.5%)、「防犯・交通安全」(92.4%)、「祭り・盆踊り」(90.9%)がいずれも9割以上の町内会で行われています。平成24年に比べて、「高齢者介護の支援(見守り、サロン活動等)」と「障害者の支援」の活動を行う町内会が大幅に増えています。

取り組んでいる活動内容

○町内会で行っている事項で1番多いのは、「防火・防災」で、全ての町内会で行われています。これに次いで、「清掃・衛生(97.0%)」、「高齢者介護の支援(見守り、サロン活動等)(95.5%)」、「防犯・交通安全(92.4%)」、「祭り・盆踊り(90.9%)」が多く、いずれも9割以上の町内会で行われています(図1-6-1)。

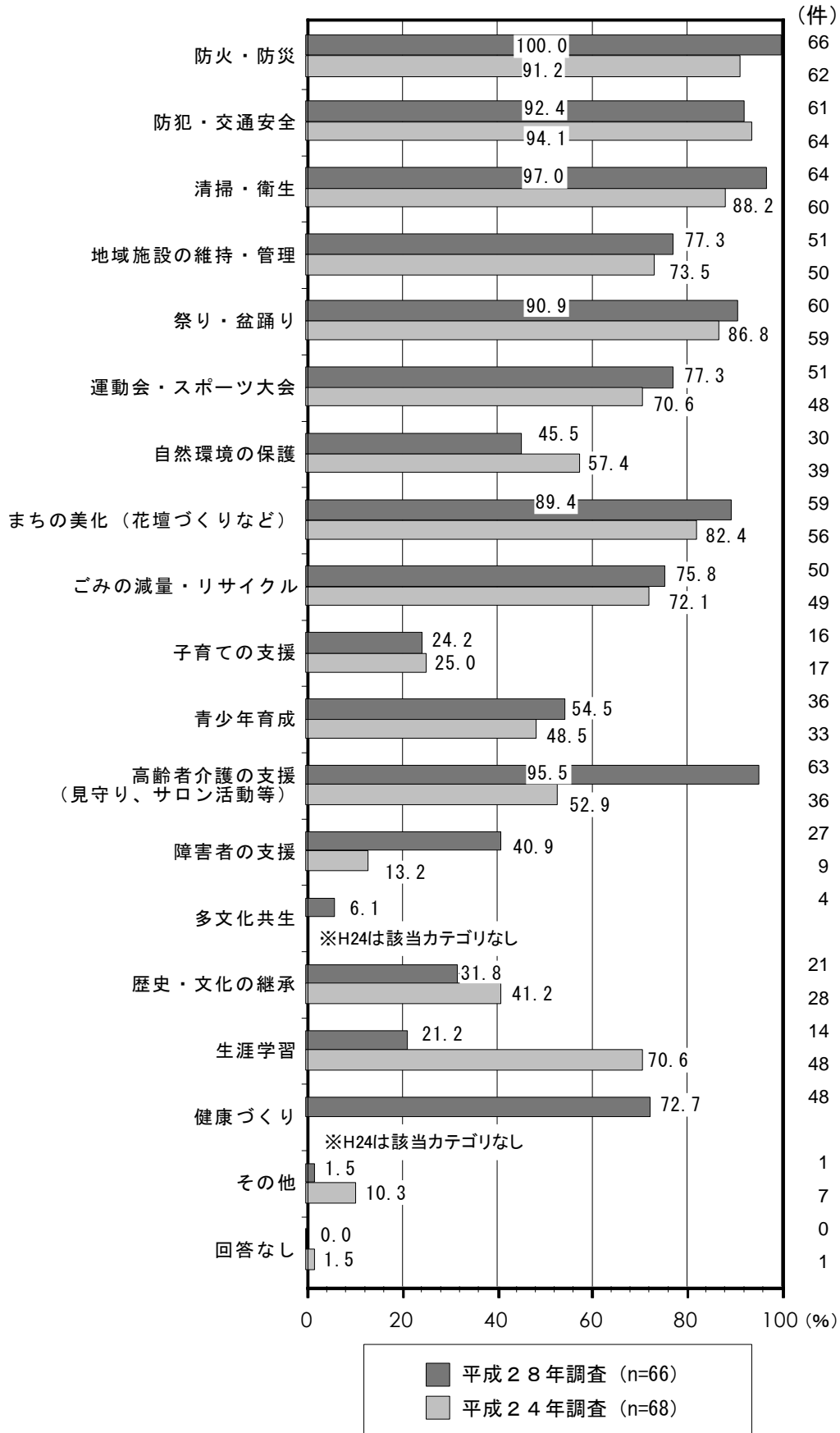
○平成24年調査の結果と比較すると、「高齢者介護の支援(見守り、サロン活動等)」と「障害者の支援」に取り組んでいる町内会は、平成24年調査の結果よりも、それぞれ、42.6ポイント(52.9%→95.5%)、27.7ポイント(13.2%→40.9%)も増えています(図1-6-1)。

○このほかに平成24年調査結果よりもポイントアップしている活動をみると、「防火・防災」は8.8ポイント(91.2%→100%)、「清掃・衛生」は8.8ポイント(88.2%→97.0%)、「まちの美化(花壇づくりなど)」は7.0ポイント(82.4%→89.4%)、「運動会・スポーツ大会」は6.7ポイント(70.6%→77.3%)、「青少年育成」は6.0ポイント(48.5%→54.5%)それぞれ増加しています(図1-6-1)。

○逆に、「生涯学習」と「自然環境の保護」については、平成24年調査結果よりもそれぞれ、49.4ポイント(70.6%→21.2%)、11.9ポイント(57.4%→45.5%)減少しています(図1-6-1)。

○全般的にみて、町内会活動は活発化している状況がうかがえ、中でも地域福祉活動を行う町内会が大幅に拡大しています(図1-6-1)。

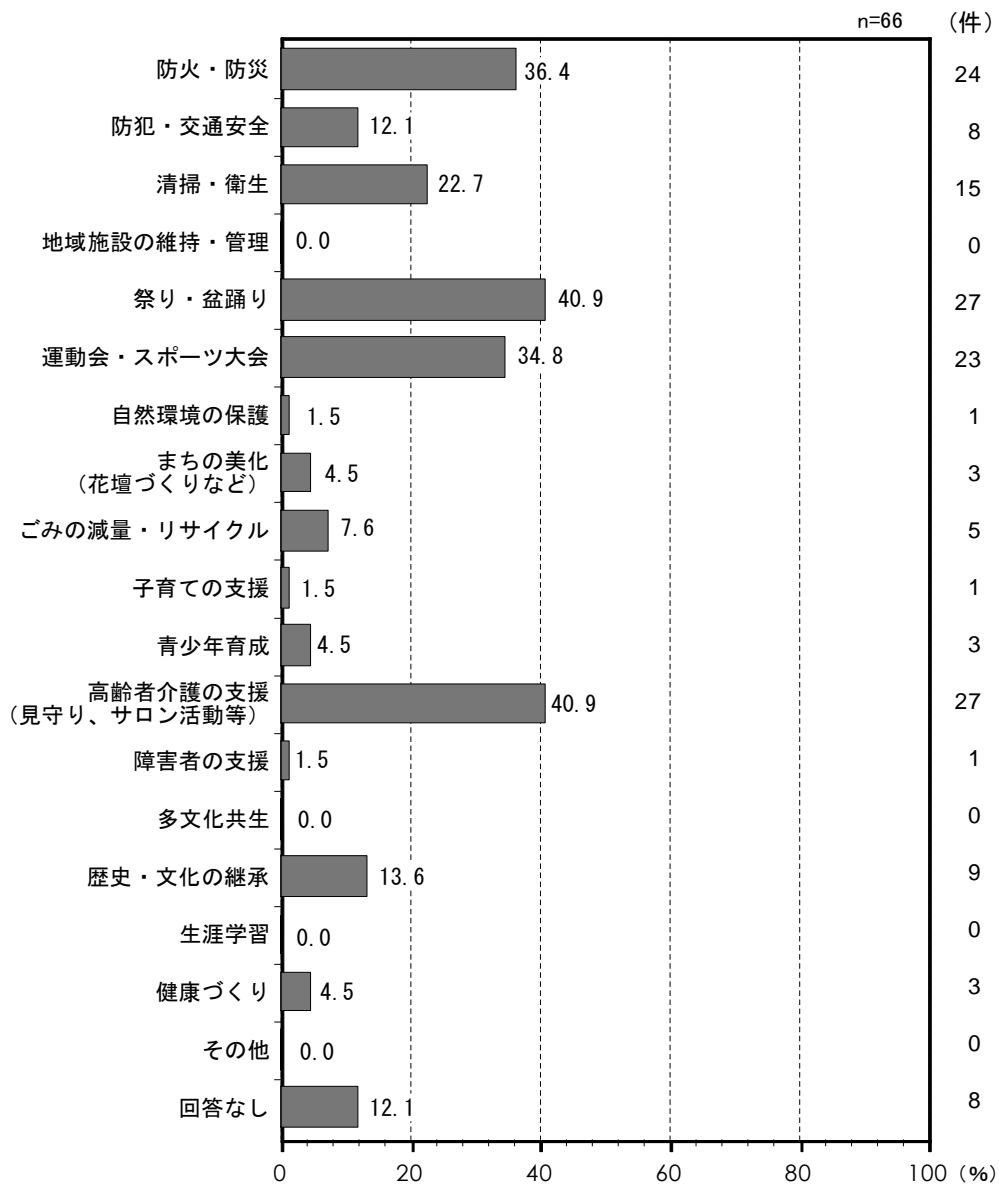
図 1-6-1 「取り組んでいる活動内容」(平成24年調査比較)



力を
入れて
いる活動

- もっとも自慢できる、または力をいれている特徴的な活動を、3つまでを上限に回答してもらったところ、「高齢者介護の支援（見守り、サロン活動等）」と「祭り・盆踊り」が共に 40.9%ともっとも多くなっています。次いで、「防火・防災（36.4%）」、「運動会・スポーツ大会（34.8%）」、「清掃・衛生（22.7%）」が多くなっています（図 1-6-2）。
- その他の活動については、いずれも 1 割程度以下にとどまっています（図 1-6-2）。

図 1-6-2 「力を入れている活動」



(7) 情報発信の内容

問8 町内会においてどのような内容の情報を発信していますか。
(あてはまるものすべてに○)

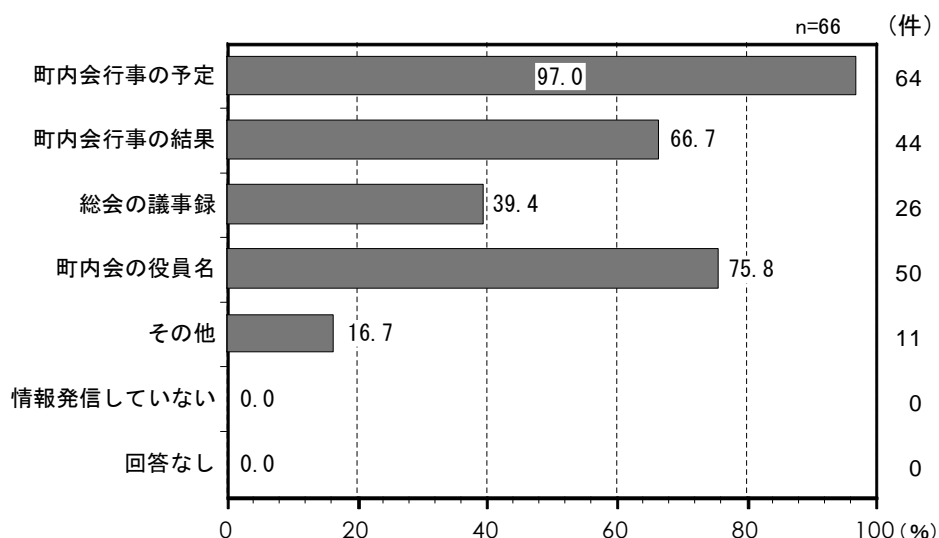
要点

町内会の情報発信内容は、「町内会行事の予定」が 97.0%と最も多くなっています。

全体

○町内会の情報発信内容についてみると、「町内会行事の予定」が 97.0%と最も多くなっています。次いで、「町内会役員名 (75.8%)」や「町内会行事の結果 (66.7%)」、「総会の議事録 (39.4%)」が多くなっています (図 1-7)。
○なお、「その他」(16.7%)の具体的な記述には、「町内会だより」や「イベント回覧」といった内容というよりは発信媒体に関するものが多々見られますが、「新規加入者および物故者の紹介」や「防犯、交通安全」、「各団体との会合」といった内容に関わる記述もみられます (図 1-7)。

図 1-7 「情報発信の内容」



(8) 情報発信媒体

問9 町内会の情報はどのような媒体で住民の皆さんに発信していますか。
(あてはまるものすべてに○)

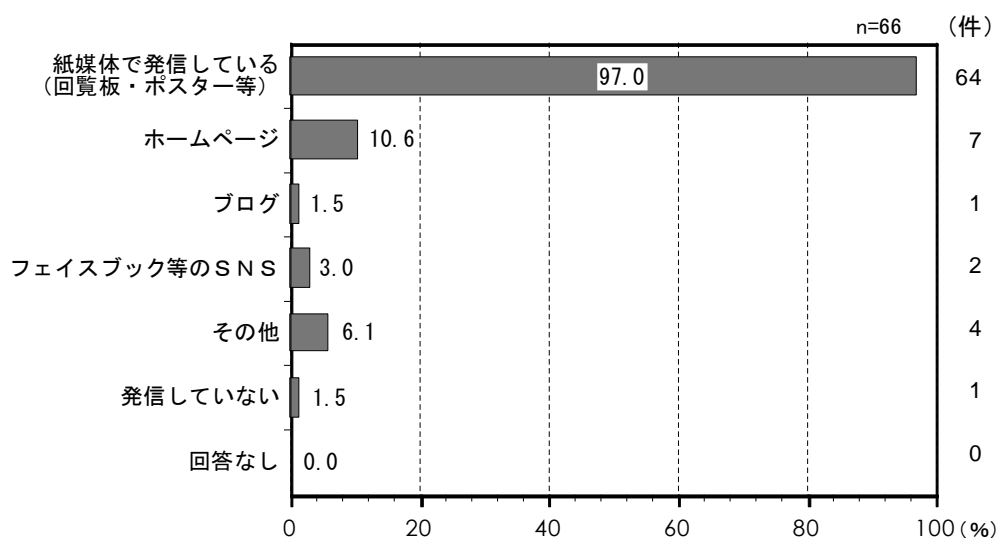
要点

町内会の情報は、主として紙媒体（回覧板・ポスター等）で行われていますが、インターネットを活用している町内会や独自の情報紙を作成・配布している町内会もみられます。

全体

- 町内会の情報発信媒体については、「紙媒体で発信している（回覧板・ポスター等）」が97.0%で圧倒的に多くなっています（図1-8）。
- 「ホームページ」は7町内会（10.6%）、「ブログ」は1町内会（1.5%）、「フェイスブック等のSNS」は4町内会（6.1%）など、インターネットを活用している町内会もいくつかみられます（図1-8）。
- 「その他」の4町内会（6.1%）の具体的な記述をみると、「町内放送」が3町内会、「独自の町内情報紙（町内情報紙「えのき）」が1町内会となっています（図1-8）。

図1-8 「情報発信媒体」



(9) 町内会活動の課題

問 10 町内会活動を行ううえで、課題となっていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○印)

要点

「役員の負担が多い」(78.8%)でもっとも多くの町内会で課題になっています。「役員のなり手が不足している」(75.8%)や「市から依頼事項が多い」(63.6%)、「役員が高齢化している」(57.6%)なども多く、全般的に役員に関することが町内会活動を行う上での主な課題としてあげられています。

全般的に平成24年調査の結果よりもポイントアップしている課題の方が多く、課題が地域的に拡大してきている状況がうかがえます。

全体

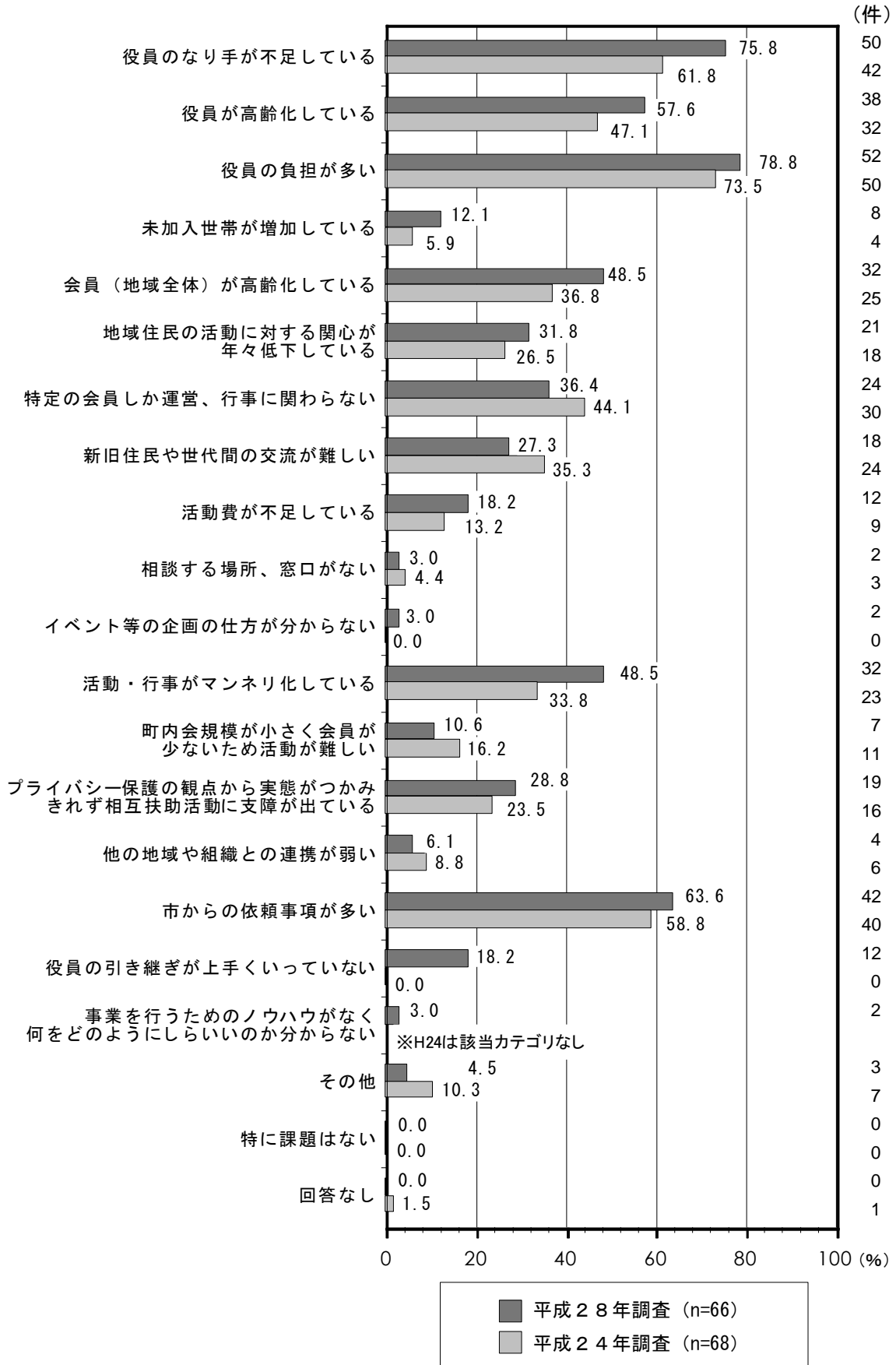
○町内会活動を行ううえでの課題についてたずねたところ、「役員の負担が多い」が78.8%でもっとも多くなっています。次いで、「役員のなり手が不足している(75.8%)」や「市から依頼事項が多い(63.6%)」、「役員が高齢化している(57.6%)」、「会員(地域全体)が高齢化している(48.5%)」、「活動・行事がマンネリ化している(48.5%)」が多くなっています(図1-9)。

○このように、役員の負担、役員の高齢化、なり手不足などが上位の課題に上がっています。また、そのような状況の中で市からの依頼事項が多いことが役員の負担になっている状況もうかがえます。さらに、役員が課題になっているがゆえに、活動や行事がマンネリ化していることにつながっているものと考えられます(図1-9)。

○平成24年調査の結果と比較すると、「新旧住民や世代間の交流が難しい」や「特定の会員しか運営、行事に関わらない」、「町内会規模が小さく会員が少ないため活動が難しい」など、平成24年調査の結果よりもポイントダウンしている課題もみられますが、どちらから言えば、全般的に平成24年調査の結果よりもポイントアップしている課題の方が多くみられます(図1-9)。

○具体的には、「活動・行事がマンネリ化している」が14.7ポイント(33.8%→48.5%)、「役員のなり手が不足している」が14.0ポイント(61.8%→75.8%)、「会員(地域全体)が高齢化している」が11.7ポイント(36.8%→48.5%)、「役員が高齢化している」が10.5ポイント(47.1%→57.6%)増加しているのが特徴的です(図1-9)。

図 1-9 「町内会活動の課題」(平成24年調査比較)



2. 協働を推進するために必要なこと

(1) 自身の町内会以外の団体との協働の実態と意向

問 12 現在、町内会活動を、NPO・ボランティアといった市民活動団体や他の町内会、事業者など、あなたの町内会以外の団体と協働して実施していますか。
(あてはまるもの1つに○印)

問 13 今後、町内会活動を進めていくうえで、他の団体と協働したいと思いませんか。
(あてはまるもの1つに○印)

要点

他団体と「協働している」という町内会は 51.5%を占めています。「協働したい」という町内会は 45.5%とそれを下回っており、「メリット、デメリットがあり、どちらとも言えない」という町内会が 39.4%と比較的多くを占めています。

協働の実態

○NPO・ボランティアといった市民活動団体や他の町内会、事業者などと協働して町内会活動を実施しているかどうかたずねたところ、「協働している」が 51.5%と過半数を占めていますが、「協働していない」も 45.5%を占め、拮抗しています(図 2-1-1)。

協働の意向

○他の団体と「協働したい」という町内会は 45.5%であり、実際に「協働している」町内会(51.5%)より若干少ない状況です。なお、「協働したくない」という町内会は、6.1%(4町内会)みられます(図 2-1-2)。

○「メリット、デメリットがあり、どちらとも言えない」という町内会が 39.4%と比較的多くを占めており、協働のメリットをいかに引出して、双方がメリットを得られる関係を築いていけるようにサポートしていくことが課題であると考えられます(図 2-1-2)。

図 2-1-1 「町内会以外の団体との協働」

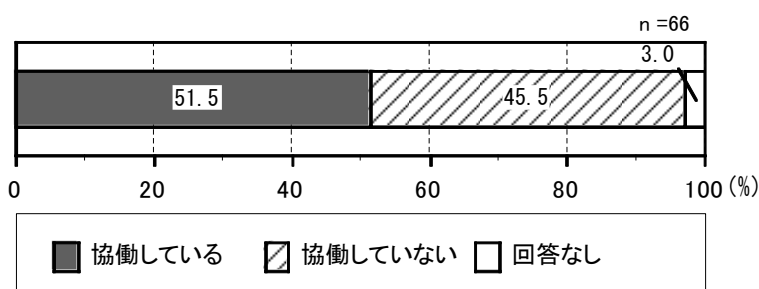
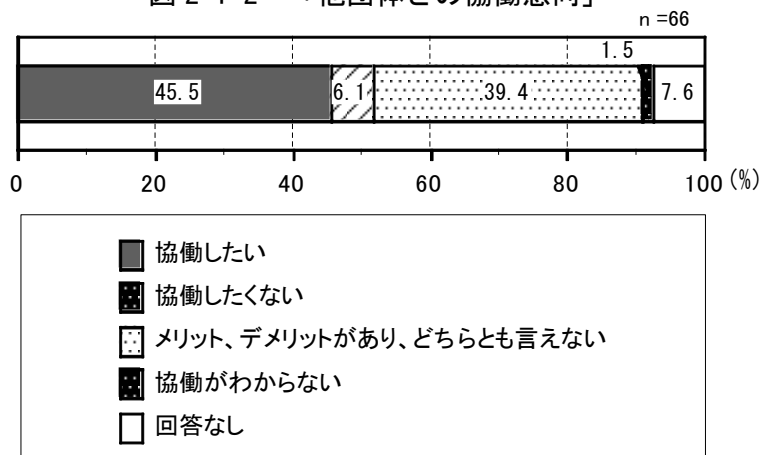


図 2-1-2 「他団体との協働意向」



(2) 協働したい団体

問 14 問 13 で「1. 協働したい」と回答した方にお聞きします。どのような団体と協働したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

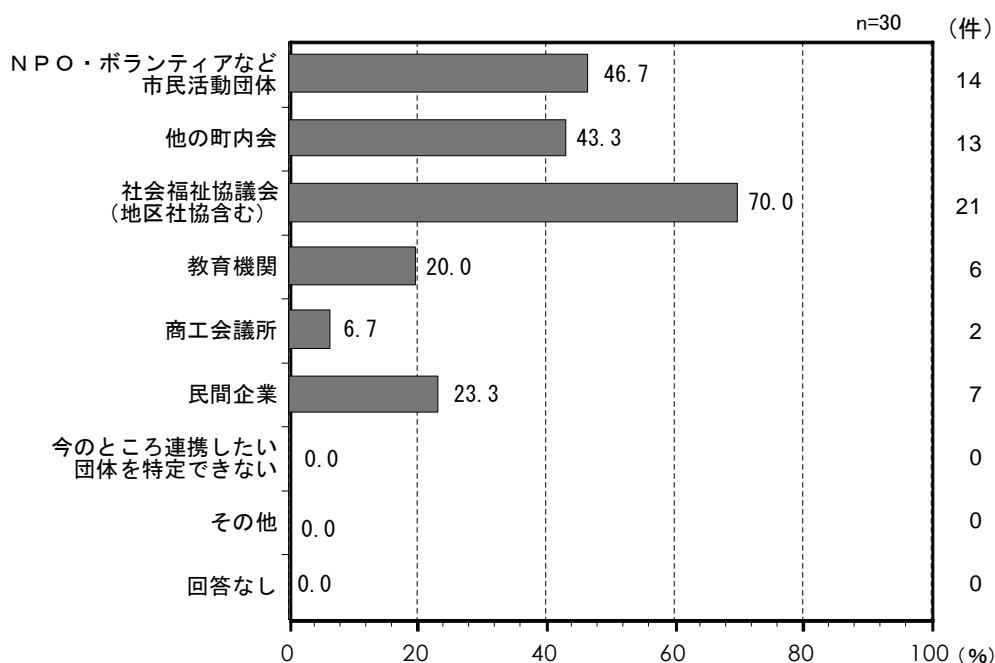
要点

協働相手としては、「社会福祉協議会（地区社協も含む）」が 70.0%（21 町内会）と最も多くなっています。「NPO・ボランティアなど市民活動団体」の 46.7%（14 町内会）や「他の町内会」の 43.3%（13 町内会）も比較的多くなっています。

全体

○「協働したい」と回答した 30 の町内会に対して、どのような団体と協働したいと思うかをたずねたところ、「社会福祉協議会（地区社協も含む）」が 70.0%（21 町内会）と最も多くなっています。次いで、「NPO・ボランティアなど市民活動団体」の 46.7%（14 町内会）、「他の町内会」の 43.3%（13 町内会）が多くなっています（図 2-2）。
○「商工会議所（6.7%：2 町内会）」や「民間企業（23.3%：7 町内会）」については少数に限られています（図 2-2）。

図 2-2 「協働したい団体」



(3) 協働する場合の期待される効果

問 15 問 13 で「1. 協働したい」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働する場合、どのような効果が期待できると考えますか。(あてはまるものすべてに○印)

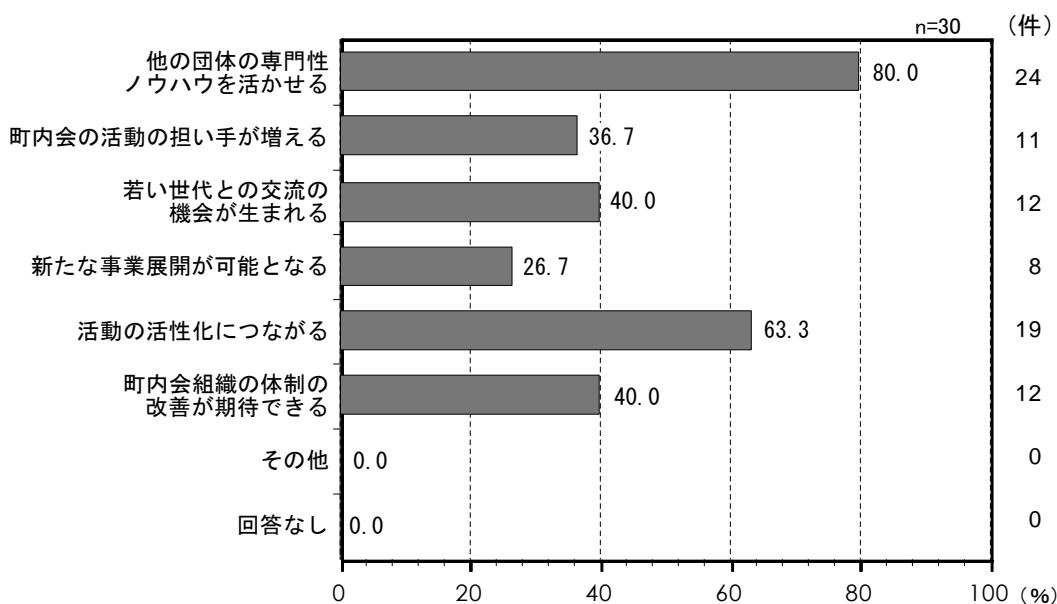
要点

「他の団体の専門性、ノウハウ（やり方）を活かせる」（80.0%〔24 町内会〕）がもっとも協働の効果として期待されています。このほか、「活動の活性化につながる」や「若い世代との交流の機会が生まれる」、「町内会組織の体制の改善が期待できる」など多様な効果が期待されています。

全体

○「協働したい」と回答した 30 の町内会に対して、他の団体と協働する場合、どのような効果が期待できるかをたずねたところ、「他の団体の専門性、ノウハウ（やり方）を活かせる」が 80.0%（24 町内会）ともっとも多なっています（図 2-3）。
○次いで、「活動の活性化につながる（63.3%：19 町内会）」、「若い世代との交流の機会が生まれる（40.0%：12 町内会）」、「町内会組織の体制の改善が期待できる（40.0%：12 町内会）」が続いており、比較的多様な効果が期待されています（図 2-3）。

図 2-3 「協働する場合の期待される効果」



(4) 協働したくない理由

問 16 問 13 で「2. 協働したくない」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働する場合、どのような理由で協働したくないと考えますか（あてはまるものすべてに○印）

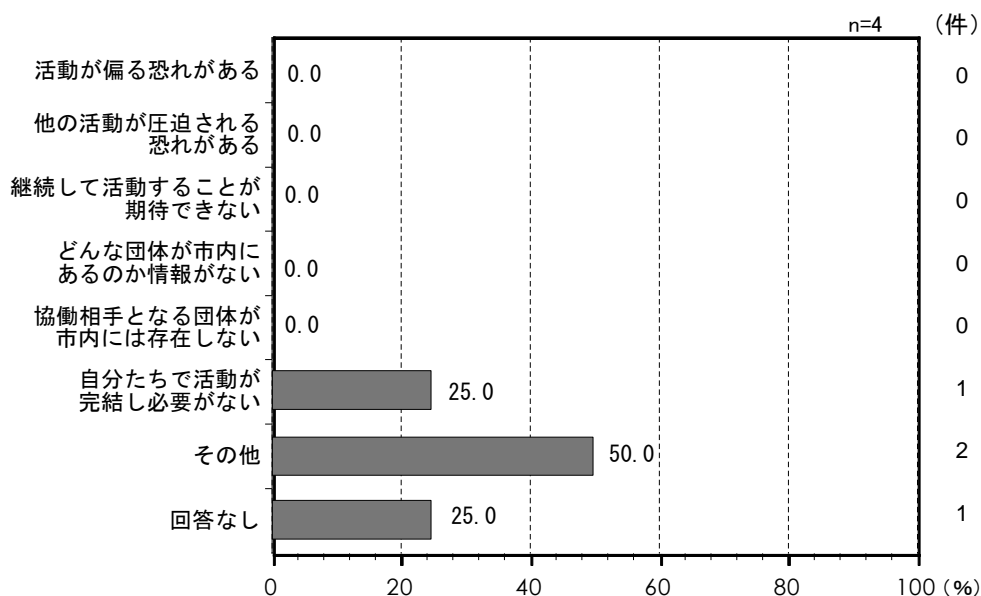
要点

「自分たちで活動が完結し、必要がない」や「考えたことが実行できなくなるから」などが「協働したくない」理由としてあげられています。

全体

○「協働したくない」と回答した4つの町内会に対してその理由をたずねたところ、「自分たちで活動が完結し、必要がない」が1町内会、「平成33年度までに全国雇用促進住宅は廃止に向け準備を進めており、町内会もなくなるため」が1町内会、「考えたことが実行できなくなるから」が1町内会、「回答なし」が1町内会となっています（図2-4）。

図 2-4 「協働したくない理由」



3. 自由回答結果（その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見）

| |
|--|
| 全ては活動費用で、市からの補助を増やしてほしい。 |
| 防災訓練のマンネリ化を防ぐため、防災士を活用。 |
| 自主防災会の会長の負担軽減を図るため、防災士に防災訓練の企画を提出してもらいたい。会長が短期間で交代しても自主防災活動の持続的運営が可能となる。 |
| 町内会活動を支援するため、住民台帳の整備に必要なデータの提供を検討してほしい。 |
| 新しいNPOやボランティアの実態や内容が不明のため、協働がうまくできない。今後、社会福祉協議会等との連携が大切になってくる。 |
| 2町内会で一つの公民館を利用しているが、2町内会を一つにすれば会長の交代等運営が楽になると思う。世帯数が増えるので町内会費の点でも運営はよくなると思う。 |
| あまりに忙しいため、考えを実行することができないので、町内会長のスケジュールを減らす方向で検討願いたい。 |
| 安城市内の町内会は、いろいろな事業でいろいろな団体と協働していると思っている。 |
| 町内会への行政、社協からの依頼項目が多く、人材不足で重複担当する等負担となる。町内会の役員の高齢化で事業を減少せざるを得ない状況が出てきた。町内会行事の無関心化が進んできた。民生委員の仕事が多岐に渡るようになり、重任依頼で難儀した。 |
| じっくり考える機会が少なくなっている昨今、時間を止めてじっくり語り合う場が欲しいと思う。そういった雑談の中で、面白いアイデア、意見が生まれると思う。 |
| 町内保育園の延長保育の希望が依然多い。 |
| 町内会運営のノウハウの情報交換をし、新しい時代に即応した改革が必要と思う。 |
| 最近福祉、防災などの行事が増えているので役員の負担が増加している。町内会の役員を増やしたいが、手当を出す余裕がないので兼任で対応している。今後は皆さんの話を聞きながら考えていきたい。 |
| 如何に多くの住民にボランティア精神で諸活動に参加してもらえるか模索している。「面倒はいや」、「活動の幅を広げると次のやり手がなくなる」などの声があり、担い手が続くか不安である。 |
| 29年度から町内会役員、評議員への積極的な女性の参画を求める予定。 |
| 町内会は現在の町内会員のニーズなどを把握して活動につなげるというのが望ましいと思うが、現実には、日々、処理すべき事項が多く余裕がない。組織を見直して役員を増やす方法もあるが、町内会役員がそこまでして町内会活動を活発化してほしいとは思っておらず、町内会行事を減らしてほしいというのが本音である。 |
| いろいろな体験談や成功例等を発表して啓発していく。 |

安城市 市民協働に関するアンケート

～第2次安城市市民協働推進計画策定に関する調査（町内会対象）～

《ご協力のお願い》

町内会の皆さまには、日ごろから市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございますとございます。

本市では、協働によるまちづくり※をさらに推進するため、平成25年に策定した「安城市市民協働推進計画」を改訂し、「第2次安城市市民協働推進計画」を平成29年度中に策定する予定です。

今回の調査は、町内会の皆様に、現在の活動状況や、「協働によるまちづくり」への考えをお聞かせいただき、計画に反映させることを目的に実施するものです。

回答はすべて統計的に処理しますので、回答された方や地域にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

※「協働によるまちづくり」とは、市民や市民活動団体、町内会、事業者、行政等が、互いに助け合い、協力し合って、誰もが幸せに暮らし続けられるまちづくりを行うことです。

平成28年7月

安城市長 神谷 学

この調査票は、原則「市民協働」に関する施策策定の目的のために使用しますが、協働によるまちづくりを推進するため、必要と判断した場合は、回答者の了承を得た上で、資料として使用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

<記入方法>

- 回答は、町内会長がご記入下さい。何らかのご事情により、町内会長が記入できない場合には、副会長・職務代理の方などが代筆してください。
- 平成28年7月1日現在の内容でご記入ください。
- ご回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。また、記述を必要とするところは、必要事項を記入してください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、8月8日（月）までにご発送ください。ますようお願い申し上げます。（切手は不要です）

<お問い合わせ>

安城市役所 市民生活部 市民協働課 市民協働係（担当：神尾、澤田）

TEL：0566-71-2218（ダイヤルイン）

FAX：0566-72-3741

Eメール：kyodo@city.anjo.lg.jp

この調査シートに出てくる「協働」ってなに？！

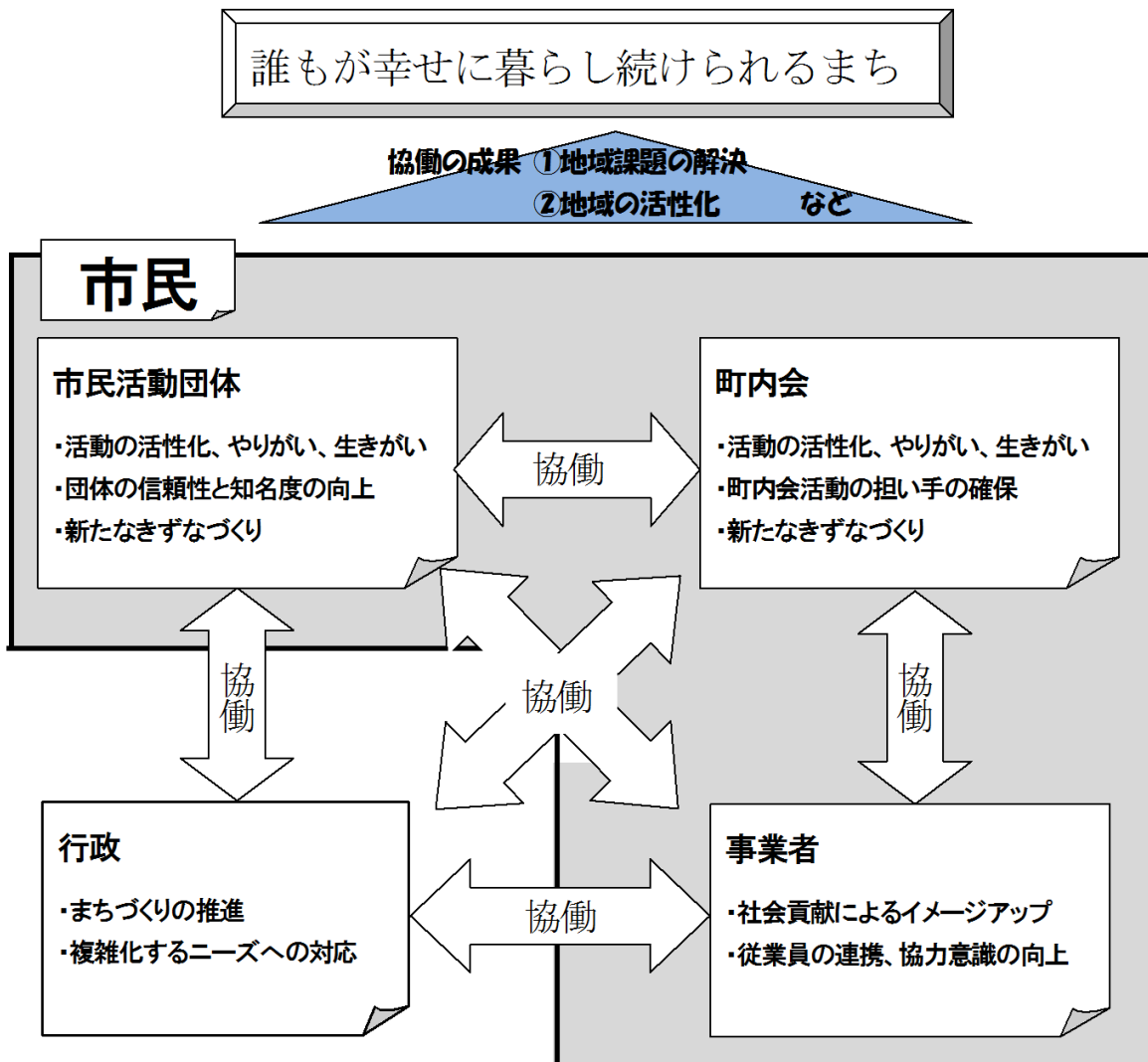
◆「協働」とは？

各地域に存在する課題を解決するために、市民、町内会、市民活動団体、事業者、市が、お互いに助け合いながら協力し、課題の解決に向けて活動をする事です。

◆「協働」するメリットは？

協働においては、それぞれの主体が、自分の得意分野を持ち寄り、また、他者の不得意な分野を補いながら活動するため、単独では得ることのできなかった、大きな成果を得られることがあります。そのことが町内会、市民活動団体の活性化につながり、結果として課題の解決につながる可能性があります。市民にとっては、団体の活動が活性化し、地域の課題が解決することで、暮らしやすい地域がつけられることがメリットとなります。

【協働のイメージ図】



I. 町内会の組織について

※今回調査における、「町内会(活動)」とは、町内会や自主防災組織、福祉委員会等の活動として、ご回答下さい。

町内会名をご記入ください

町内会・自治会

問1 現在の町内会長の在職年数は何年ですか。(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 5. 10年以上 |
| 3. 3年以上5年未満 | |

問2 町内会の役員の選出はどのように行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 立候補または、他人からの推薦 | 候補者が複数いた場合の決定方法 |
| 2. 順番に役職が回ってくる(輪番制) | 1. 投票 2. くじ引き |
| 3. その他(具体的に:) | 3. その他(具体的に:) |

問3 町内会への加入率はどのような状況ですか。(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. かなり増加傾向にある | 4. 微減傾向にある |
| 2. 微増傾向にある | 5. かなり減少傾向である |
| 3. ほぼ横ばいである | |

問4 町内会に加入しない世帯では、どのようなことが未加入の理由として多いですか。

(あてはまるもの2つまで○印)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 近所付き合いがわずらわしい | 6. 高齢により活動に参加できない |
| 2. 加入しなくても困らない | 7. アパート住まいで短期の居住になる |
| 3. 町内会活動に関心がない | 8. わからない |
| 4. 役員になりたくない | 9. その他 |
| 5. 会費を払いたくない | (具体的に:) |

問5 町内会への加入を促進するために、行っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|------------------------------|
| 1. 未加入世帯や転入者に口頭で加入を呼びかけている |
| 2. 未加入世帯や転入者にチラシを作成し配布している |
| 3. ポスターやチラシを掲示板等に掲示している |
| 4. 賃貸住宅のオーナーや管理会社に加入を呼びかけている |
| 5. 事情に応じて役員や会費等の負担を軽減している |
| 6. その他(具体的に:) |
| 7. 行っていることは特にない |

問6 町内会において、現在どのような活動に取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○印)

| | | |
|------|-------------------|--------------------------|
| 活動分野 | 1. 防火・防災 | 10. 子育ての支援 |
| | 2. 防犯・交通安全 | 11. 青少年育成 |
| | 3. 清掃・衛生 | 12. 高齢者介護の支援(見守り、サロン活動等) |
| | 4. 地域施設の維持・管理 | 13. 障害者の支援 |
| | 5. 祭り・盆踊り | 14. 多文化共生※ |
| | 6. 運動会・スポーツ大会 | 15. 歴史・文化の継承 |
| | 7. 自然環境の保護 | 16. 生涯学習 |
| | 8. まちの美化(花壇づくりなど) | 17. 健康づくり |
| | 9. ごみの減量・リサイクル | 18. その他(具体的に:) |

※多文化共生とは、地域に暮らす外国の人たちと、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、共に生きていくこと。

問7 問6で回答した活動分野の中で、最も自慢できる、または力をいれている特徴的な活動は何ですか。主なものを3つについて、「活動分野の番号」と「具体的な活動の名称」、「その活動の概要」を下欄ご記入ください。

| 問6の活動分野の番号を記入 | 具体的な活動の名称 | 特に力をいれている特徴的な活動の概要(簡単に) |
|---------------|-----------|-------------------------|
| | | |
| | | |
| | | |

問8 町内会においてどのような内容の情報を発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

| | | |
|---------|-------------|--------------|
| 情報発信の内容 | 1. 町内会行事の予定 | 4. 町内会の役員名 |
| | 2. 町内会行事の結果 | 5. その他() |
| | 3. 総会の議事録 | 6. 情報発信していない |

問9 町内会の情報はどのような媒体で住民の皆さんに発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|---------|---|
| 情報発信の媒体 | 1. 紙媒体で発信している(回覧板・ポスター等) |
| | 2. インターネットで発信している → ①ホームページ ②ブログ ③フェイスブック等のSNS ④その他() |
| | 3. 発信していない |

問10 町内会活動を行ううえで、課題となっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

| | |
|---------------------------|--|
| 1. 役員のなり手が不足している | 12. 活動・行事がマンネリ化している |
| 2. 役員が高齢化している | 13. 町内会規模が小さく会員が少ないため活動が難しい |
| 3. 役員の負担が多い | 14. プライバシー保護の観点から実態がつかみきれず相互扶助活動に支障が出ている |
| 4. 未加入世帯が増加している | 15. 他の地域や組織との連携が弱い |
| 5. 会員（地域全体）が高齢化している | 16. 市からの依頼事項が多い |
| 6. 地域住民の活動に対する関心が年々低下している | 17. 役員の引き継ぎが上手くいっていない |
| 7. 特定の会員しか運営、行事に関わらない | 18. 事業を行うためのノウハウがなく、何をどのようにしたらいいのか分からない |
| 8. 新旧住民や世代間の交流が難しい | 19. その他（具体的に： _____） |
| 9. 活動費が不足している | 20. 特に課題はない |
| 10. 相談する場所、窓口がない | |
| 11. イベント等の企画の仕方が分からない | |

問11 上記課題に対して、何か取り組まれていることがあれば、ご記入ください。

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

II. 協働を推進するために必要なこと

問12 現在、町内会活動を、NPO・ボランティアといった市民活動団体や他の町内会、事業者など、あなたの町内会以外の団体と協働して実施していますか。(あてはまるもの1つに○印)

| | |
|-----------|------------|
| 1. 協働している | 2. 協働していない |
|-----------|------------|

⇒「1. 協働している」と回答した方は、特徴的と思われる主な活動の内容、協働相手の団体名を3つまでご回答ください。

| 活動内容（具体的に） | 協働相手 |
|------------|------|
| 1. | |
| 2. | |
| 3. | |

問13 今後、町内会活動を進めていくうえで、他の団体と協働したいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○印)

| | | | |
|-----------------------|------------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 協働したい (問14、15へ) | 2. 協働したくない(問16へ) | 3. メリット、デメリットがあり、 どちらとも言えない | 4. 協働がわか らない |
|-----------------------|------------------|--------------------------------|-----------------|

問14 問13で「1.協働したい」と回答した方にお聞きします。どのような団体と協働したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○印)

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. NPO・ボランティアなど市民活動団体 | 5. 商工会議所 |
| 2. 他の町内会 | 6. 民間企業 |
| 3. 社会福祉協議会(地区社協含む) | 7. 今のところ連携したい団体を特定できない |
| 4. 教育機関 | 8. その他(具体的に:) |

上記の団体と協働して取り組みたい活動内容を簡単にご記入ください。

| |
|-------|
| |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

問15 問13で「1.協働したい」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働する場合、どのような効果が期待できると考えますか。(あてはまるものすべてに○印)

| | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 他の団体の専門性、ノウハウ(やり方)を活かせる | 5. 活動の活性化につながる |
| 2. 町内会の活動の担い手が増える | 6. 町内会組織の体制の改善が期待できる |
| 3. 若い世代との交流の機会が生まれる | 7. その他 |
| 4. 新たな事業展開が可能となる | (具体的に:) |

問16 問13で「2. 協働したくない」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働する場合、どのような理由で協働したくないと考えますか(あてはまるものすべてに○印)

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 活動が偏る恐れがある | 5. 協働相手となる団体が市内には存在しない |
| 2. 他の活動が圧迫される恐れがある | 6. 自分たちで活動が完結し、必要がない |
| 3. 継続して活動することが期待できない | 7. その他 |
| 4. どんな団体が市内にあるのか情報がない | (具体的に:) |

その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見など、何でも自由にお書き下さい。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

調査は、以上です。ご協力ありがとうございました。

